

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 20 年度

市町村名	秩父市			
補助事業名	バイオマス熱エネルギー利用による環境学習推進事業			
事業期間	20 年度 ～ 20 年度			
事業の必要性、目的	本市では、「秩父市第1次総合振興計画」において、「環境重視・経済回生」を将来都市像のキーワードに掲げ、知恵と工夫により持続可能な地域社会を次世代に引き継ぐため、環境保全と経済発展を両立させて活力あるまちづくりをすすめるために、本事業を実施するものである。			
成果指標	(成果を検証する指標) 視察者数			
	(成果検証の具体的な方法) 事業実施後に視察者数を集計し、現状の数値と比較して増減数及びその原因を分析する。			
	(上記の指標を設定した理由) 本事業の目的は視察者の増加により、持続可能な地域社会を次世代に引き継ぎ、環境保全と経済発展を両立させて活力あるまちづくりをすすめることであるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (20年3月現在)	2,808人(年間)	目標値 (22年3月時点)	4,000人(年間)
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)	4,000	稼働率(目標)(%)	—
住民への公表方法及び特記事項	市のホームページにおいて目標値を住民に公表する。また、対象施設にアンケートを設置し、来場者の意向を確認した結果を事業実施後の原因分析と今後の改善策検討のための資料とする。			

【成果指標と事業の関連性】

※平成20年度補助事業を構成する各事業

補助事業を構成する事業	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① ハウス熱供給設備設置事業	ハード 吉田元気村にハウス(温室)を整備し、木質バイオマス・コジェネ施設が生産する熱の有効利用を行う。また、小中学生等が体験型の環境学習プログラムとして活用し、環境保全意識の啓発を図る。	3,500
② クロレラ培養池設置事業	ハード 吉田元気村にクロレラ培養池を整備し、木質バイオマス・コジェネ施設が生産する熱の有効利用を行う。また、小中学生等が体験型の環境学習プログラムとして活用し、環境保全意識の啓発を図る。	500
③	ハード ソフト 実行委 間接補	
④	ハード ソフト 実行委 間接補	
⑤	ハード ソフト 実行委 間接補	
⑥	ハード ソフト 実行委 間接補	
合計		4,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	事業については、学識経験者や専門家等によりバイオマスエネルギー研究事業運営評価委員会を設置し、検討を重ねているほか、出来る限り様々な意見を事業に反映するよう努める。
成果指標の達成見込み	当市への視察者数をを2年後に30%増加させる成果目標を達成するにあたり、平成20年度ソフト事業2件を組み合わせると十分な効果が出ると判断した。また、平成20年度事業実施後に事業の分析を行い、平成21年度事業の内容を修正することで、目標達成をより確実にする。